

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	MC L盛岡ペットワールド専門学校
設置者名	学校法人龍澤学館

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数 ※令和8年度～

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数	省令で定める基準単位数	配置困難
文化・教養専門課程	愛玩動物看護師科	夜・通信	81単位	10単位	
	ペット美容トリマー科	夜・通信	54単位	7単位	
	ドッグトレーナー科	夜・通信	46単位	7単位	
	動物飼育科	夜・通信	55単位	7単位	
	ペットマスター科	夜・通信	91単位	10単位	
(備考)					
※令和7年度以前の時間管理情報について、次ページに追記いたします					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

Web サイト : https://tatsuzawa.ac.jp/information

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数 ※令和7年度生まで

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
文化・教養 専門課程	愛玩動物看護師科	夜・通信	2415時間	240時間	
	ペット美容トリマー科	夜・通信	1515時間	160時間	
	ドッグトレーナー科	夜・通信	1505時間	160時間	
	動物飼育科	夜・通信	1693時間	160時間	
	ペットマスター科	夜・通信	2565時間	240時間	
(備考)					

(備考)

学校教育法施行規則改正の附則第2条（経過措置）に基づき、「単位時間」を用いているため、該当年次生については単位時間数で記載しております。

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	MC L盛岡ペットワールド専門学校
設置者名	学校法人 龍澤学館

1. 理事（役員）名簿の公表方法

Web サイト：<https://tatsuzawa.ac.jp/information>

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	会社顧問	2025.5.27～2029.5.26 (4年)	産業界からの人材 育成に対するアド バイス
非常勤	会社相談役	2025.5.27～2029.5.26 (4年)	産業界からの人材 育成に対するアド バイス
非常勤	会社取締役頭取	2025.5.27～2029.5.26 (4年)	産業界からの人材 育成に対するアド バイス
非常勤	会社取締役会長	2025.5.27～2029.5.26 (4年)	産業界からの人材 育成に対するアド バイス
非常勤	元高等学校校長	2025.5.27～2029.5.26 (4年)	教育経験に基づい た教育事業に対す るアドバイス
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	MC L盛岡ペットワールド専門学校
設置者名	学校法人龍澤学館

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。 (授業計画書の作成・公表に係る取組の概要) 当該学年が新年度を迎える前年度の12月までに、カリキュラムの変更案について教務担当者間で協議し、学内会議を経て1月の理事会に諮る。これにより承認されたカリキュラムを基に、シラバス(授業計画)案を各科目担当者が作成し、学内会議での承認を得る(1～3月)。 シラバス(授業計画)案の作成にあたっては、検討委員会で協議し決定したガイドラインおよび共通フォーマットを提示することにより、必要記載事項がもれなく適切に記載されるよう留意する。 4月、新年度の各学科の授業開始までに、履修ガイダンスを実施する。併せて、シラバス(授業計画書)を随時確認できるよう、ホームページ上でも公開している。	
授業計画書の公表方法	Web サイト： https://tatsuzawa.ac.jp/information
2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。 (授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要) 各授業科目の特性に応じ、以下の項目のいずれか(複数項目の場合には、項目間の評価割合を規定する場合もある)により、学修成果を評価し、厳格かつ適正に履修認定を実施している。 ・評価対象となるテストの得点率 60%以上 ・課題提出の提出状況および内容の完成度 ・検定試験結果 ・プレゼンテーション審査 ・出席率 80%以上 ・受講態度 各科目における最終評価は4段階(A・B・C・D)とし、Dの評価を得た際には、当該科目の履修修了要件を満たさないものと判定する。	

3. 成績評価において、G P A等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。 (客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要) 各学生が年度末までに得た成績評価を数値化し、総受講科目の合計値を求め受講科目数で除して得られる数値を、学生の「個別評価平均値」として算出し、学科内での成績分布状況を把握する際の指標とする。 ※成績評価を受ける前の段階において、成績の分布状況を把握する必要が生じた際には、小テストや模擬試験等の得点をもとに学科内の平均点や個別の総得点を算出し、指標とすることもある。	
客観的な指標の算出方法の公表方法	Web サイト : https://tatsuzawa.ac.jp/information
4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。 (卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要) 各学科のディプロマポリシーおよびカリキュラムポリシーは、学科教員間で検討した原案を基に、学内会議で協議したうえで承認されたものを、(学生の手引きへ掲載し配布することより学生へ周知する。また、これらの内容については、随時確認できるようホームページ上でも公開している。 卒業認定については、卒業年次の1月末までに得た成績評価および学費納入状況を踏まえ、卒業認定委員会での審議を経て学校長が決定する。 《ディプロマポリシー》 ・ 人、動物の気持ちを考えて、コミュニケーションをとることができる ・ 働くということへの心構えができている ・ 基本的な動物看護師としての技術を身に付けている (愛玩動物看護師科・ペットマスター科) ・ 動物の体の構造、仕組みが理解できる (愛玩動物看護師科・ペットマスター科) ・ 基礎となるグルーミング技術が身についている (ペット美容トリマー科・ペットマスター科) ・ 飼い主とペット生活について総合的にアドバイスができる能力が身についている (ペット美容トリマー科・ペットマスター科) ・ 飼い主のニーズ、ペットの実用的なスタイリングに対応できる技術が身についている (ペット美容トリマー科・ペットマスター科) ・ 犬や飼い主の要望に合わせたサポートができる (ドッグトレーナー科) ・ 犬と動物のより良い関係づくりのために活動できる (ドッグトレーナー科) ・ 多種多様な生物の生態を把握すると共に、飼育・管理を間違いなくすることができる (動物飼育科) ・ 人と動物のより良い関係づくりのために活動ができる (動物飼育科)	
卒業の認定に関する方針の公表方法	Web サイト : https://tatsuzawa.ac.jp/information

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	MC L 盛岡ペットワールド専門学校
設置者名	学校法人龍澤学館

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	Web サイト： https://tatsuzawa.ac.jp/information
収支計算書又は損益計算書	
財産目録	
事業報告書	
監事による監査報告（書）	

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		文化・教養 専門課程	愛玩動物看護師科	○	—		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3 年	昼	93 単位	65 単位	31 単位	27 単位	0 単位	0 単位
			123 単位				
学生総定員数		学生実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
60 人		45 人	0 人	7 人	10 人	17 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 学内会議を経て理事会にて承認されたカリキュラムを基に、各科目担当者が授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準等について記載した授業計画案を作成し、学内会議の承認を得て年間の授業計画を決定する。
成績評価の基準・方法
（概要） 各授業科目の特性に応じ、以下の項目のいずれか（複数項目の場合には、項目間の評価割合を規定する場合もある）により、学習成果を評価する。 ・評価対象となるテストの得点率 60%以上 ・課題提出の提出状況および内容の完成度 ・検定試験結果 ・プレゼンテーション審査 ・出席率 80%以上 ・受講態度 各科目における最終評価は4段階（A・B・C・D）とし、Dの評価を得た際には、当該科目の履修修了要件を満たさないものと判定する。

卒業・進級の認定基準
(概要) 進級認定については進級年次の２月末までに、卒業認定については卒業年次の１月末までに、それぞれ得た成績評価および学費納入状況を踏まえ、進級・卒業認定委員会での審議を経て学校長が決定する。
学修支援等
(概要) クラス担任制で、生活面や学習面の相談・指導等において、必要に応じて保護者とも連携を図りながら個別対応を行っている。 キャリア支援担当を設置し、学生の進路（就職等）活動について担任と連携して支援・指導を行っている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
15 人 (100%)	1 人 (6.7%)	11 人 (73.3%)	3 人 (20.0%)
(主な就職、業界等) 動物病院、ペットショップ			
(就職指導内容) 筆記試験対策、面接試験対策、技術指導			
(主な学修成果（資格・検定等）) 愛玩動物看護師、愛玩動物飼養管理士 損害保険募集人資格 愛玩動物看護師ライセンス（学校認定）			
(備考)（任意記載事項） 2022 年度新設学科（完成年度：2024 年度）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
41 人	2 人	4.9%
(中途退学の主な理由) 治療のため、進路変更のため		
(中退防止・中退者支援のための取組) 月単位での出席率を計上し、95%以下は個別面談、90%以下は保護者面談等を実施している。		

分野		課程名	学科名	専門士		高度専門士	
文化・教養		文化・教養 専門課程	ペット美容トリマー科	○		—	
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	62単位	27単位	21単位	34単位	0単位	0単位
			82単位				
学生総定員数		学生実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
60人		48人	0人	7人	4人	11人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 学内会議を経て理事会にて承認されたカリキュラムを基に、各科目担当者が授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準等について記載した授業計画案を作成し、学内会議の承認を得て年間の授業計画を決定する。
成績評価の基準・方法
（概要） 各授業科目の特性に応じ、以下の項目のいずれか（複数項目の場合には、項目間の評価割合を規定する場合もある）により、学習成果を評価する。 ・評価対象となるテストの得点率 60%以上 ・課題提出の提出状況および内容の完成度 ・検定試験結果 ・プレゼンテーション審査 ・出席率 80%以上 ・受講態度 各科目における最終評価は4段階（A・B・C・D）とし、Dの評価を得た際には、当該科目の履修修了要件を満たさないものと判定する。
卒業・進級の認定基準
（概要） 進級認定については進級年次の2月末までに、卒業認定については卒業年次の1月末までに、それぞれ得た成績評価および学費納入状況を踏まえ、進級・卒業認定委員会での審議を経て学校長が決定する。
学修支援等
（概要） クラス担任制で、生活面や学習面の相談・指導等において、必要に応じて保護者とも連携を図りながら個別対応を行っている。 キャリア支援担当を設置し、学生の進路（就職等）活動について担任と連携して支援・指導を行っている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
18 人 (100%)	0 人 (0%)	17 人 (94.4%)	1 人 (5.6%)
(主な就職、業界等) トリミングサロン、ペットショップ			
(就職指導内容) 筆記試験対策、面接試験対策、技術指導			
(主な学修成果（資格・検定等）) 愛玩動物飼養管理士、家庭動物管理士、損害保険募集人資格、サロントリマー検定、トリマーライセンス（学校認定）			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
51 人	6 人	11.8%
(中途退学の主な理由) 治療のため 進路変更のため		
(中退防止・中退者支援のための取組) 月単位での出席率を計上し、95%以下は個別面談、90%以下は保護者面談等を実施している。		

分野		課程名	学科名		専門士	高度専門士	
文化・教養		文化・教養 専門課程	ドッグトレーナー科		○	—	
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼	62 単位	25 単位	21 単位	37 単位	0 単位	0 単位
			83 単位				
学生総定員数		学生実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
20 人		13 人	0 人	7 人	3 人	10 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）			
（概要） 学内会議を経て理事会にて承認されたカリキュラムを基に、各科目担当者が授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準等について記載した授業計画案を作成し、学内会議の承認を得て年間の授業計画を決定する。			
成績評価の基準・方法			
（概要） 各授業科目の特性に応じ、以下の項目のいずれか（複数項目の場合には、項目間の評価割合を規定する場合もある）により、学習成果を評価する。 ・評価対象となるテストの得点率 60%以上 ・課題提出の提出状況および内容の完成度 ・検定試験結果 ・プレゼンテーション審査 ・出席率 80%以上 ・受講態度 各科目における最終評価は４段階（Ａ・Ｂ・Ｃ・Ｄ）とし、Ｄの評価を得た際には、当該科目の履修修了要件を満たさないものと判定する。			
卒業・進級の認定基準			
（概要） 進級認定については進級年次の２月末までに、卒業認定については卒業年次の１月末までに、それぞれ得た成績評価および学費納入状況を踏まえ、進級・卒業認定委員会での審議を経て学校長が決定する。			
学修支援等			
（概要） クラス担任制で、生活面や学習面の相談・指導等において、必要に応じて保護者とも連携を図りながら個別対応を行っている。 キャリア支援担当を設置し、学生の進路（就職等）活動について担任と連携して支援・指導を行っている。			
卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
9 人 (100%)	0 人 (0%)	9 人 (100%)	0 人 (0%)
（主な就職、業界等） ペットショップ、ペットホテル施設			
（就職指導内容） 筆記試験対策、面接試験対策、技術指導			
（主な学修成果（資格・検定等）） 愛玩動物飼養管理士、家庭動物管理士、損害保険募集人資格、トレーナーライセンス（学校認定）			

(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
17 人	1 人	5.9%
(中途退学の主な理由) 進路変更		
(中退防止・中退者支援のための取組) 月単位での出席率を計上し、95%以下は個別面談、90%以下は保護者面談等を実施している。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		文化・教養 専門課程	動物飼育科	○	—		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼	62 単位	33 単位	21 単位	31 単位	0 単位	0 単位
			85 単位				
学生総定員数		学生実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
20 人		25 人	0 人	7 人	5 人	12 人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 学内会議を経て理事会にて承認されたカリキュラムを基に、各科目担当者が授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準等について記載した授業計画案を作成し、学内会議の承認を得て年間の授業計画を決定する。
成績評価の基準・方法
(概要) 各授業科目の特性に応じ、以下の項目のいずれか（複数項目の場合には、項目間の評価割合を規定する場合もある）により、学習成果を評価する。 ・評価対象となるテストの得点率 60%以上 ・課題提出の提出状況および内容の完成度 ・検定試験結果 ・プレゼンテーション審査 ・出席率 80%以上 ・受講態度 各科目における最終評価は4段階（A・B・C・D）とし、Dの評価を得た際には、当該科目の履修修了要件を満たさないものと判定する。

卒業・進級の認定基準
(概要) 進級認定については進級年次の２月末までに、卒業認定については卒業年次の１月末までに、それぞれ得た成績評価および学費納入状況を踏まえ、進級・卒業認定委員会での審議を経て学校長が決定する。
学修支援等
(概要) クラス担任制で、生活面や学習面の相談・指導等において、必要に応じて保護者とも連携を図りながら個別対応を行っている。 キャリア支援担当を設置し、学生の進路（就職等）活動について担任と連携して支援・指導を行っている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
13 人 (100%)	0 人 (0%)	9 人 (69.2%)	4 人 (30.8%)
(主な就職、業界等) ペットショップ、サファリパーク、水族館			
(就職指導内容) 筆記試験対策、面接試験対策、技術指導			
(主な学修成果（資格・検定等）) 愛玩動物飼養管理士、家庭動物管理士、損害保険募集人資格、アニマルアドバイザーライセンス（学校認定）			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
20 人	0 人	0%
(中途退学の主な理由) 該当者なし		
(中退防止・中退者支援のための取組) 月単位での出席率を計上し、９５％以下は個別面談、９０％以下は保護者面談等を実施している。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		文化・教養 専門課程	ペットマスター科	○	—		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3 年	昼	93 単位	67 単位	28 単位	36 単位	0 単位	0 単位
			131 単位				
学生総定員数		学生実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
60 人		46 人	0 人	7 人	12 人	19 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 学内会議を経て理事会にて承認されたカリキュラムを基に、各科目担当者が授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準等について記載した授業計画案を作成し、学内会議の承認を得て年間の授業計画を決定する。
成績評価の基準・方法
（概要） 各授業科目の特性に応じ、以下の項目のいずれか（複数項目の場合には、項目間の評価割合を規定する場合もある）により、学習成果を評価する。 ・評価対象となるテストの得点率 60%以上 ・課題提出の提出状況および内容の完成度 ・検定試験結果 ・プレゼンテーション審査 ・出席率 80%以上 ・受講態度 各科目における最終評価は4段階（A・B・C・D）とし、Dの評価を得た際には、当該科目の履修修了要件を満たさないものと判定する。
卒業・進級の認定基準
（概要） 進級認定については進級年次の2月末までに、卒業認定については卒業年次の1月末までに、それぞれ得た成績評価および学費納入状況を踏まえ、進級・卒業認定委員会での審議を経て学校長が決定する。
学修支援等
（概要） クラス担任制で、生活面や学習面の相談・指導等において、必要に応じて保護者とも連携を図りながら個別対応を行っている。 キャリア支援担当を設置し、学生の進路（就職等）活動について担任と連携して支援・指導を行っている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
10 人 (100%)	0 人 (0%)	7 人 (70%)	3 人 (30%)
(主な就職、業界等) 動物病院、トリミングサロン、ペットショップ			
(就職指導内容) 筆記試験対策、面接試験対策、技術指導			
(主な学修成果（資格・検定等）) 愛玩動物看護師、愛玩動物飼養管理士、損害保険募集人資格、サロントリマー検定、トリマーライセンス（学校認定）			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
42 人	3 人	7.1%
(中途退学の主な理由) 進路変更		
(中退防止・中退者支援のための取組) 月単位での出席率を計上し、95%以下は個別面談、90%以下は保護者面談等を実施している。		

②学校単位の情報

a) 「学生納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考（任意記載事項）
愛玩動物看護師科	100,000 円	590,000 円	659,000 円	【その他】 施設費・維持費・補助活動費
ペット美容トリマー科			784,000 円	
ドッグトレーナー科			653,000 円	
動物飼育科			674,000 円	
ペットマスター科			664,000 円	
修学支援（任意記載事項）				

b) 学校評価

自己点検評価結果の公表方法		
(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) Web サイト : https://tatsuzawa.ac.jp/information		
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制)		
※当面は学校関係者評価委員会の実施とする。実施方法・体制は以下のとおり。 毎年度末に実施する「自己点検・評価」の結果に基づき、企業等委員 (2 名以上) および卒業生委員 (2 名以上) で構成される学校関係者評価委員会において、実務に関する知見を活かして教育目標や教育環境など学校運営全般について評価を実施する。その評価結果を学校運営会における改善事項の提案に反映し、学校運営会や職員会において具体的な方策を検討し改善に活かしていく。このことにより、地域で必要とされる人材の育成のための教育の質の向上、学生支援、卒業後支援、社会活動等の充実とともに、健全かつ安定した学校運営を図ることを基本方針とする。 なお、委員会の運営には委員長 1 名、副委員長 1 名のほか、学校職員 (2 名以上) も事務局として携わる。		
第三者 (学校関係者) 評価の委員		
所属	任期	種別
一般社団法人岩手県獣医師会	2026.4.1～2028.3.31 (2 年)	企業委員
盛岡市動物公園	2026.4.1～2028.3.31 (2 年)	企業委員
動物病院	2026.4.1～2028.3.31 (2 年)	卒業生
動物病院	2026.4.1～2028.3.31 (2 年)	卒業生
第三者 (学校関係者) 評価結果の公表方法		
(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) Web サイト : https://tatsuzawa.ac.jp/information		
(備考)		
※第三者評価未実施		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://wanco.ac.jp/
--

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格 A 4 とする。